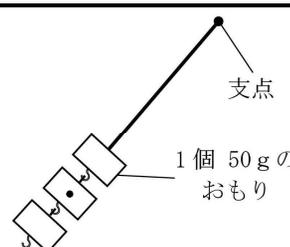


平成29年度 適性検査Ⅱ 正答・正答例及び評価基準

※解答欄に印刷されている単位が重複して書かれていても正答とする。

※漢字の誤字は減点の対象としない。

問題番号		正答または正答例	配点			評価上の留意事項													
問	小問		小問	小計	計														
1	(1)	(例) $600 \div 10$	2	2	9	(1)の式については、答えの有無や正誤は問わない。 $\square \times 10 = 600$ などの $\square$ を用いて乗法の式で関係を正しく解答しているものも正答とする。													
	あ	$60000(\text{cm}^3)$	2	7															
	(2)	い う	2(L) 20(m)	2 3			7												
2	(1)	①				2	4	(1)①は、中央のおもりに(・)がかかっていると判断できるものを、正答とする。  (2)①い は、1往復する時間が変わらないことを解答していれば、正答とする。 (2)①え は、1往復する時間が変わらないことを解答していれば、正答とする。  (2)③は、「おもりの中心」という言葉を用いているものを評価の対象とし、支点からおもりの中心までの長さが短くなることにふれて解答しているものを正答とする。また、結論がなくても正答とする。											
			②	あ	オ	2													
	①	い	(例) おもりの重さを変えてもふりこの1往復する時間は変わらない	2															
		え	(例) ふりこのふれはばを変えてもふりこの1往復する時間は変わらない	2															
		き	ふりこの長さ	2															
	(2)	②	う	D	2	16													
			お	B	2														
か	C	2																	
③	(例) 洋さんが立って乗ることで、おもりの中心の位置が支点に近くなり、座って乗るお母さんのブランコよりふりこの長さが短くなるから、洋さんが立って乗った方が1往復する時間が短くなる。	4																	
(3)		1.2(秒)	3	3															
3	(1)	あ	1.5(倍)	2	8	(1)は、分数を用いて解答しているものも正答とする。 (2)①は次のものも正答とする。また、空欄に「0」を記述したのもも正答とする。													
		い	1.6(倍)	2															
		う	2.25(倍)	4															
	(2)	①	え	(例) <table border="1" data-bbox="405 1454 888 1618"> <tr> <td></td> <td>シーフードピザ</td> <td>ミートピザ</td> <td>ミックスピザ</td> </tr> <tr> <td>L</td> <td>枚</td> <td>1枚</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>枚</td> <td>枚</td> <td>2枚</td> </tr> </table>			シーフードピザ	ミートピザ	ミックスピザ	L	枚	1枚	枚	M	枚	枚	2枚	4	7
					シーフードピザ		ミートピザ	ミックスピザ											
L	枚	1枚	枚																
M	枚	枚	2枚																
②	(午後)4(時)30(分)	3																	
(3)	①	お	45(分)	3	7														
			18(分)	4															
4	(1)	①	あ	エ	2	(1)②い は、「両方ともほぼ同じ温度」等、結果がほぼ同じであることを解答しているものを正答とする。 (1)②う は、「暖かさ」等、熱に関わるものを解答しているものを正答とする。 (2)②は、「布」という言葉を用いているものを評価の対象とし、「ゆっくり冷める」、「少しずつ温度が下がる」等も正答とする。													
			い	(例) AとBが同じ温度	3		8												
			う	(例) 熱	3														
	(2)	①	え	しない・した	2		5												
				(例) 布をかけると、お湯が冷めにくくなる	3														
	(3)	お	8	4	4														
	(4)		10(個)	4	4														
5	(1)	①	(例) 高さ①と高さ②の直線は両方とも対角線に垂直だから、高さ①と高さ②の直線は平行である。	3	6	(1)①は、結論がなくても正答とする。また、「直角に交わる」等の表現も正答とする。 (1)②は、次のように分数で表したのもも正答とする。 $\frac{\text{対角線の長さ} \times (\text{高さ①} + \text{高さ②})}{2}$													
			(例) 対角線の長さ $\times$ (高さ①+高さ②) $\div$ 2	3															
	(2)	①	ウ	(例) 回して、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> の場所に置く	4		12	(2)①は、ともに正しい場合のみ正答とする。また、「エ ずらして、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> の場所に置く」も正答とする。 (2)②は、「96.0」も正答とする。 (2)③は、「16」も正答とする。											
				96(m <sup>2</sup> )	4														
				16.0(m)	4														
	(3)	あ	い	12(寸)	3		7	(3)あい は、ともに正しい場合のみ正答とする。 (3)うえ は、ともに正しい場合のみ正答とする。 また、次のようなものも正答とする。 ・「寸」「分」を用いて表記しているものや、う を64.827、え を62.5と解答しているもの。 ・う を「京柘の容積」、え を「江戸柘の容積」のように、言葉で解答しているもの。											
				5(分)	3														
(例) $4.9 \times 4.9 \times 2.7$				4															
え	(例) $5 \times 5 \times 2.5$	4																	